

医 事 課

常に親切で丁寧な対応と正確かつ迅速な業務遂行を

市立札幌病院の玄関に入ってすぐ右手に入院・外来の受付等を担当する総合受付、その奥に医事課があります。主な業務として外来及び入院の受付・会計計算・収納業務、外来・入院診療報酬明細書作成業務、カルテの管理、各種医事統計作成業務、総合相談、医療費の支払等に関する相談業務などを行っております。

現在、医事課は課長1名、係長2名、係員6名、非常勤職員27名と委託職員で、外来・入院業務の統括と診療報酬の調定管理、医療秘書、病歴室及びDPCに関する業務を担当しています。

このうち、病歴室及びDPCセンターには、係長と非常勤職員合わせて、9名の診療情報管理士を配置して、病名登録、がん登録、DPCコーディングなど、専門的な業務を行っております。

手話通訳者の配置

耳の不自由な患者さんへの対応として、専任手話通訳者を2名配置して、医師、看護師等とのコミュニケーションを円滑に進めるよう努めております。

「医師から言われていることが初めて理解できた、いままで誤解していた」などの声もあり、手話通訳者を利用される患者さんも次第に増えております。



手話通訳：左より田中職員、濱野職員

総合相談窓口

1階事務室内には、地域連携課と共同で総合相談窓口として、交通事故・労災、諸法申請、特定疾患、産科医療、医療費相談、がん相談、看護相談、各種申請手続きなどの相談カウンターを設置し、患者さんのプライバシーに配慮しつつ各種のご相談、申請事務を行っており、患者さんの不明なこと、不安なことなどの解消に当たっております。

がん相談は、専従の看護師がご相談に当たっており、がんに関するパンフレットなどをご用意し、不安を訴

医事課長
中島 克典



える患者さんをサポートしております。相談窓口には、それぞれ専門の職員がおりますので、保険制度や医療費のことなどのご質問等ありましたらお気軽にご相談ください。

日頃から、職員全員が「患者さんへの親切で丁寧な対応と正確かつ迅速な業務遂行」を心がけ、「つねに“やさしさ”を持って診療に専心する」という市立札幌病院の基本理念に沿った改善のために努力しておりますが、まだまだ不十分な点は数多くあり、日々の問題解決に取り組んでいる状況です。

お気づきの点がございましたら、何なりと医事課の窓口にお伝えください。

これからも、市民に愛され、信頼され、必要とされ続ける市立札幌病院であるために、患者さんと最初に接する窓口として、頑張っていきますのでよろしく願いいたします。



総合相談窓口スタッフ
委託職員：ニチイ学館、このほか、キャリアバンク・マイクロフィッシュに医事業務、受付業務を委託しています。